

# 小雑紙の分別を始めます！！

南部町の一般家庭から出される可燃ごみの量は年間約 1,900 トンで、これは一人当たり直すと年間約 174 キログラムです。可燃ごみの約 60 パーセントが紙類で、これを削減することが、減量に直結します。

そこで、新たに 12 月から小雑紙<sup>しょうざつがみ</sup>を分別して、固型燃料(RPF)としてリサイクルすることにいたしました。

## しょうざつがみ 小雑紙とは何？

しょうざつがみ  
・小雑紙とは、おおむねハガキの大きさより小さな紙のことを指します。例えば、下の絵のようなものなどです。



(コーティングされたものは可)

汚れた紙・臭いの強い紙は→可燃ごみで出してください。

新聞・チラシ、ダンボール、牛乳パック、雑誌類は→古紙類に分別してください。

名前や電話番号等が気になる方は、細かくして出してください。

**出し方** …透明・半透明の袋に入れてください。

**収集日** …発泡スチロール・軟プラ類の日に出してください。

新たな分別収集にご協力をお願いいたします。